

# 祝・稚児舞い復活！ 赤塚神社 春まつり

日時 平成 22 年 4 月 14 日 (水) 19:00~宵宮(夜宮)  
 平成 22 年 4 月 15 日 (木) 春まつり  
 13:00~神事(社殿内でのお願い行事)  
 14:00~太々神楽、稚児舞い



## ●○ 赤塚神社 春まつり 解説 ○●

神事は、赤塚地区の役員等が、地域の五穀豊穡と住民の無病息災・安全を祈願します。続いて太々神楽は、祈願や昔話に基づいた舞いです。以下、簡単にご説明いたします。

一、 <small>さかきまい</small> 榊舞	<small>ふたい しほう せいじょう ほう</small> : 舞台の四方を清浄に祓う
二、 <small>あま うきはし</small> 天の浮橋	<small>ほこま にほん たんじょう あら ま</small> : 鉾舞い。日本の誕生を現わす舞い
三、 <small>かた なまい</small> 刀舞	<small>いっとうま よ へいあん ねが やくさいしようじよ きがん</small> : 一刀舞い。世の平安を願い、厄災消除を祈願する
四、 <small>さかきまい</small> 榊舞	【稚児舞い】
五、 <small>かい じん</small> 海神	<small>かいじょうあんぜん たいりょう いの ま</small> : 海上安全と大漁を祈る舞い
六、 <small>かみ い さま</small> 神伊佐美	<small>すずま あまのいわと あまてらすおおみかみ つ だ</small> : 鈴舞い。天岩戸から天照大神を連れ出すための舞い
七、 <small>く な 戸</small> 久奈戸	<small>せいじょう こころ もと ま</small> : 清浄の心を求める舞い
八、 <small>さかきまい</small> 榊舞	【稚児舞い】
九、 <small>え び す まい</small> 恵比寿舞	<small>うみ まもりがみ りょう そしん ことしろのしのみこと え び す あら</small> : 海の守神で漁の祖神である事代主命=恵比寿を表わす
十、 <small>だい こく まい</small> 大黒舞	<small>だいこくま かいりんじゆふく ま さいご しんぜん くもつ ま</small> : 大黒舞い。開運授福の舞い。最後に神前の供物を撒く



例年「七、久奈戸」のあとは「鏡造り(盆舞い)」ですが、今年は諸事情によりお休みです。盆舞いとして親しまれるこの舞いは、天岩戸に隠れた天照大神に奉げる鏡を盆に見立てた、陽気な舞いです。

今年 20 年ぶりに復活の稚児舞いは「榊舞」のみで、男女それぞれ四名がひと組となり、各一回ずつ舞います。本来、太々神楽は五つの稚児舞いを含む十二舞いで構成されています。稚児舞いは他に、「刀舞」「花献(花舞い)」「羽返えし(扇舞い)」「小弓遊び(弓舞い)」があります。なお、この春で 6 年生になった児童二名は今年が最初で最後の舞いとなります。今後も児童の募集をしつつ、練習を重ね、舞いの数を徐々に増やす予定です。

もう一点、大人の太々神楽は、今まで継承してこられたお年寄りも平均年齢が 80 歳を超え、若者に継承しつつあります。しかしながら若手継承者の人数は少なく、継承は依然、危機的状況です。地域の皆様にお力添え(=楽人の増員)をいただきたく、併せてお願い申し上げます。

